



町長 高校生に熱く語る！

～羅臼高校生への町長講話～

去る12月17日(月)、町長が羅臼高校に出向いて、全校生徒を対象に講話が行われました。

羅臼町では、ここ数年で介護福祉施設の開設や今年、新診療所の建設等、医療・保健・福祉にかかわる条件整備が急速に進められています。



また、産業振興の面でも、新たな起業に対する支援や本町地区の活性化に向けた検討も町の重要施策として進められています。

しかしその一方で、その担い手となる人材(マンパワー)が不足しているという課題も抱えていることから、かねてより「高校生に町の現状を知ってもらい、まちづくりに積極的に関わろうという目標設定・意欲を持ってもらえる機会をつくりたい」ということで開催したもので、将来の羅臼町を担っていく高校生に向け「まちづくりの担い手として、様々な場面で関わって行って欲しい。」と熱いメッセージが伝えられました。

講話のまとめとして、自身の一生の宝物は「真の友人」。生徒の皆さんも親しいだけの友人ではなく、真の友人を得てください。」とエールも贈られました。



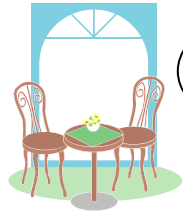
講話後、生徒から質問があり、1年生川端さんから「どうして町長になりたいと思ったのか？」との質問に、「役場職員として、歴代町長の仕事の大変さを見ていたので、なりたいとは思っていなかった。しかし、当時の状況としてやらざるを得なかった。」と、使命感を窺わせる回答がありました。また、2年生東狐さんからは「町長が座右の銘としている『初心忘るべからず』の初心とは何か？」との質問もあり、「勇気と決断と実践」との明確な回答がありました。



最後に、生徒会長の2年生里館君から立派な謝辞があり、短い時間ではありましたが、高校生と触れ合う時間が実現しました。



教育懇談会より



教育委員会では例年、町内小・中学校の校長と教育委員との懇談会を開催して情報・意見交換を行ってきていますが、今年も去る12月14日(金)に開催し、「児童・生徒の学力向上に向けた各学校の取り組み」と「教職員研修の成果について」をテーマに懇談が行われました。

その中で、子どもたちの家庭学習の状況に関することも話題になり、各学校、それぞれ工夫を凝らした家庭での学習習慣が身に付くような取り組みの紹介がありました。

しかし、羅臼の子ども達の実態としてゲームや携帯電話、パソコンに費やす時間が多く、家庭学習の時間が少ないといった実態もあるようで、学校の取り組みと併せて「家庭における保護者の支援が大切！」との意見も出されていました。

家庭学習の習慣は、早くから子ども達に身につけさせたいと願っている保護者の皆さんは多いと思います。

しかし、どのように子どもに働きかたらよいか、声かけや接し方など、きっかけづくりに迷っている方も多いのではないのでしょうか。



家庭学習の習慣化に向けて

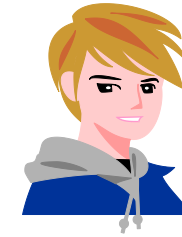
そこで、町教委では道立教育研究所(通称「道研」江別市)との連携により、講師を招いて保護者の皆さんを対象に「低学年から家庭学習の習慣を身につけるためには」をテーマに、「算数が好きになる家庭学習の取り組み方」をご紹介する機会を設けることに致しました。開催日は下記のとおり。今回の「町政だより(別紙チラシ)」に詳細を記載していますので、ぜひご参加ください。

記

とき：平成25年1月9日(水) / 午後6時～7時10分

場所：羅臼町公民館視聴覚室

☆なお、参加する際は申し込みが必要ですので、お忘れなく！
お申し込み・お問い合わせは、教育委員会(TEL87-2129)山崎まで。



中学生になるこの時期は、思春期に入り、親や友達と異なる自分独自の内面の世界があることに気づきはじめるとともに、自意識と客観的事実との違いに悩み、様々な葛藤(かっとう)の中で、自らの生き方を模索し始める時期です。

また、大人との関係よりも、友人関係に自らへの強い意味を見出します。更に、親に対する反抗期を迎えたり、親子のコミュニケーションが不足しがちな時期でもあり、思春期特有の課題が現れます。また、仲間同士の評価を強く意識する反面、他者との交流に消極的な傾向も見られます。性意識も高まり、異性への興味関心も高まる時期でもあります。



現在の我が国においては、生徒指導に関する問題行動などが表に出やすいのが、思春期を迎えるこの時期の特徴であり、また、不登校の子ども割合が大幅に増加する傾向や、更には、青年期すべてに共通する引きこもりの増加といった傾向なども見られます。

これらを踏まえて、青年前期の子ども発達において重視すべき課題としては、次の3点があげられます。

- ① 人間としての生き方を踏まえ、自らの個性や適性を探求する経験を通して、自己を見つめ、自らの課題と正面から向き合い、自己の在り方を思考すること。
- ② 社会の一員として他者と協力し、自立した生活を営む力を育成すること
- ③ 法やきまりの意義への理解や公德心(公共心、道徳心)を自覚すること

家庭・地域の一員として認めて役割を持たせ、自分の存在価値ややりがいを感じられるよう、大人からの「お願い！」や「ありがとう。」の声かけも大事ですね。



(裏面もご覧ください)

UNESCO Associated Schools 第2回ユネスコスクール研究発表会

12月11日(火) 公民館大ホールで、第2回羅臼町ユネスコスクール研究発表会が町長、教育長、ユネスコ協会副会長臨席のもとに開催されました。

去年は中高生だけの参加で行われましたが、町内全校全園がユネスコスクールに登録された今年度は、中高生に加え、羅臼小学校の3年生と春松小学校の3、4年生も参加しました。さらに公民館ロビーでは、羅臼、春松両幼稚園の園児の自然体験に関する作品展示を開催し、“町内すべての子どもたちの発表会”という雰囲気盛り上がりしました。



小学生は、クマ学習で学んだことを元にした「ヒグマカルタ」の披露、



環境省レンジャーに教わった外来生物防除の知識や駆除体験、知床の生態系を守るレンジャーの仕事について、幼稚園との交流で園児のために考えた魚釣りゲームの紹介などを発表しました。



中学生は、ホエールウォッチング船での職業体験を通して学んだ知床の生態系のこと、小学校や幼稚園、コンビニでの職場体験を通して感じたことについて発表しました。



高校生は、海岸漂着ゴミの調査と分析の結果を学術的に報告してくれました。

この発表会は、人に何かを説明するプレゼンテーション能力を高め、堂々と話せるようになることを目的としています。同時に話を聴く姿勢や態度を学ぶ場でもあります。

発表の態度は、申し分ないものでしたが、話を聴く態度に若干の課題がみられました。小学生が一生懸命に発表している時、一部の生徒の間から笑い声が上がることがあったのは大変残念なことです。真面目な姿勢を笑う態度は、良心が崩壊する兆(きざ)しです。人間として許されるものではありません。参加者全員には、聴く側として真摯な態度が求められます。

わたしたちは、これらの課題について全教職員が共通して意識したいと考えます。そして、子どもたちが人間として一層成長できるように努めたいと考えています。これからも応援を宜しくお願い致します。

シリーズ「栄養士からの情報提供」-No.5-

長いお休みの時期ほど、生活リズムを整えて!!



町内の学校・幼稚園は冬休みに入りました。漁師の皆さんも、この時期は1年の中で長めにお休みが取れる方が多いのではないのでしょうか？

長いお休みに入ると「自由だー(≧▽≦)!!」という解放感から、夜更かしがちになったり、いつもと違う時間帯に行動したり etc... で、生活リズムの乱れることが多くなります。もやい8月号にも生活リズムについて掲載しましたが、**生活リズムが乱れると太りやすくなる!!** という事実をご存知ですか？「太ること」というのは、食べ過ぎが大きな原因ではありますが、単純にそれだけが理由ということでは無いようです…。

右の表は、日本人の健康に良いといわれる理想的なエネルギー摂取量にあった1970年代(昭和40年後半~昭和50年前半)から近年にかけての、エネルギー摂取量と日本人の肥満者の推移です。



出典：「国民栄養の現状」「国民健康・栄養調査」(ともに厚生労働省)

エネルギー摂取量が減っているのに、肥満者の割合がどんどん増えているんです!! 特に、平成8年のエネルギー摂取量は、餓死者が出た1946年(昭和21年)の水準よりも低いのだとか。

エネルギー摂取が減ったのに日本人が太ってしまった理由は、運動不足。運動不足の原因は生活リズムの乱れに原因があります。生活リズム(時計遺伝子)が乱れると、運動機能を低下させて、エネルギー代謝を下げしてしまうんです。キャー!!(°_°)



また、朝ごはんの欠食も太りやすい食事パターンの1つ。アメリカの栄養調査でも「**朝ごはんを食べない人は、食べた人の5倍も肥満しやすい!**」ということが分かりました。夜更かしして、夜食を食べて、朝食を抜く…1日の総エネルギー量が適正でも、この生活パターンだと、太ってしまうという状況が起こります。

特に漁師の皆さんは、繁忙期に昼夜逆転の生活が続いていたと思うので、このお休みの間にリズムを戻すチャンスです! 生活リズム(時計遺伝子)は乱れていても、早起き・朝ごはんの習慣を2~3日続けることで元に戻すことが可能です。リズムが整うと太りにくくなること以外にも、ホルモンバランスも整うので、体調も良くなるんですよ。

小さい子は、大人の生活時間帯に大きく影響されます。まずは大人から、「早寝・早起き・朝ごはん」のお手本を示してあげませんか!?



羅臼町郷土資料館 開館1周年記念 郷土資料館検定クイズ



12月10日発行の町政だよりでもお知らせしていますが、羅臼町郷土資料館が旧植別小中学校に移転開設して1年が経ちます。これを記念して、下記のとおり検定クイズを開催します。ふるってご参加ください。

記

*開催場所：羅臼町郷土資料館(峯浜町)

*開催期間：12月25日(火)~27日(木)

*受付時間：午前10時~午後2時まで

資料館受付で「クイズ参加」とお伝えください。

*検定クイズ：クイズは15問です。12問以上正解者に認定書と賞品をプレゼント。

*賞品：勾玉(まがたま)工作キット(先着30名)

郷土資料館工作室で製作体験できます。

(所要時間90分)

*その他：お弁当持参もOK!!

*お問い合わせ：羅臼町郷土資料館 TEL 88-3850

良いお年を!

2012年もまもなく幕を閉じます。この一年は、皆様にとってどんな年だったでしょうか。7月から発行を開始したこの「もやい」も、何とか毎月発行することができ6号目の発行を終えることができました。

まだまだ、お伝えしきれっていない感もありますが、来年も引き続きご愛読いただきますようお願い申し上げますとともに、来るべき2013年が皆様にとって、幸多い一年となりますよう、ご祈念申し上げ、この一年のお礼とさせていただきます。皆様、良いお正月をお迎えください。

